発行 ： 2008年5月

Global Mix

グローバルミックスの現況

特別勘定（変額保険用） 月次運用報告書（2008年4月）

日ごろは格別のお引き立てを頂き、誠に有り難く御礼申し上げます。
２００８年４月における特別勘定（変額保険用）の運用状況をご報告致します。
なお、毎月の運用状況は、弊社ホームページにおいてもご覧いただけます。

ホームページアドレス　http://www.axa.co.jp/life/

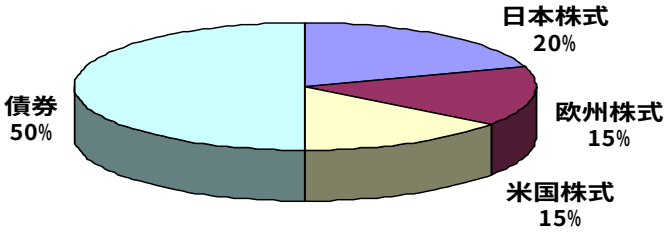
特別勘定の運用方針

■ 日本国債をはじめとする債券及び日本・米国・欧州の株式に分散投資することにより、中長期での資産の安定的な成長を目指します。為替リスクは、原則として、フルヘッジします。
■ 基本的な資産配分は、株式５０％程度、債券５０％程度とします。
■ 特別勘定の運用は、各投資信託（ファンド）の買付けを含め、アクサ生命保険株式会社 投資性プロフィットセンター ファンドマネジメント・チームが行います。
■ 特別勘定の運用においては、アクサ・グループの運用会社（運用協力会社）の運用するファンドを買付けます。運用協力会社およびファンドは、今後予告なく変更される可能性があります。変更については、随時お知らせいたします。
■ 各ファンドの資産配分比率は、金融情勢、経済動向などにより変更することがあります。

目次

特別勘定の運用方針	1
運用協力会社のご紹介	1
運用環境について	2
特別勘定の資産内容について	3
各ファンドについて	4-6
注意事項	6
契約月別の運用実績の例	7-9

（グローバルミックスの資産配分比率）



＊上記は設定当初の資産配分比率です。
＊資産配分比率は、将来的には変更されることがあります。

運用協力会社（ファンドの運用会社）のご紹介

■アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社

アクサ・ローゼンバーグは、マルチ・エクスパートによる資産運用業務をグローバルに展開するアクサ・インベストメント・マネージャーズの日本法人として、機関投資家の資金や投資信託の運用を行う資産運用会社です。１９８７年の日本進出以来、ファンダメンタルズ情報と最新の運用テクノロジーを結合することにより、一貫した投資哲学に基づく株式のアクティブ運用を行うとともに、債券、オルタナティブ投資商品といった幅広い投資家のニーズに応える高品質な運用商品を提供しています。

・当該資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
また、予告なしに当該資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
・当該資料は、当社の変額保険の運用状況などを開示するためのものであり、生命保険契約の勧誘を目的としたものではありません。
・当該資料の運用実績に関する内容は過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
・当該資料に記載されている各表にある金額、比率等はそれぞれの項目を四捨五入等をしていますので、合計等と合致しないことがあります。

アクサ生命保険株式会社
〒108-8020　東京都港区白金1－17－3　　TEL　03-6737-7777（代表）
編集・発行　アクサ生命保険株式会社　契約管理センター

運用環境について(2008年4月)

〔日本株式市場〕

■ 日本株式市場の主要株価指数の月間騰落率は、東証株価指数が前月比+12.01%、日経平均株価指数は+10.6%となりました。これは、米国株式市場の回復と円安が主な要因でした。また、1-3月期の欧米金融機関の業績が予想を上回ったことも後押ししました。米ドルは対円で1ドル100円台前半で始まり、104円台前半で引けました。

一方、日本の政局、経済、企業業績には良い材料は見られず、1日に発表された日銀短観では大企業製造業DIが11と12月調査の19から後退しました。世界中で食料品と日常生活必需品の価格が上昇する中、労働賃金は停滞気味で、消費者心理も悪化しました。また、原油価格は1バレル119ドル近辺まで値上がりしました。

■ 需給面では、当月の第3週までの集計で海外投資家が昨年10月以来半年振りに買い越しに転じました。海外投資家の動向は、金融不安が後退したことを背景に改善しました。ここ数ヶ月間ヘッジファンドが、保有していた空売りポジションを買い戻したことも海外投資家の買いを後押ししました。一方、国内個人投資家が売りの主体で、昨年12月以来4ヶ月ぶりに売り越しに転じました。株価が上昇する局面で売りに転じたことによるものです。

〔米国株式市場〕

■ 米国株式市場の主要株価指数の月間騰落率は、S&P500種株価指数は+4.75%、ダウ平均株価は+4.54%、ナスダック指数は+5.87%となりました（いずれも現地通貨ベース）。

■ 月初は、マクロ経済指標が依然として弱いながらも、信用不安の後退や大手金融機関の増資などを受けて、堅調に推移しました。月中にかけては、1-3月期の業績発表が本格化し、金融機関などの業績の悪化を懸念して一時的に下落しましたが、その後は、金融機関から新たな悪材料が発表されなかったことや、グローバル企業の決算で海外需要が堅調なことが示されたことなどを受け、株価は再度上昇しました。シティグループやメリルリンチの決算発表は赤字決算であったものの、損失額が予想の範囲内に留まったことが投資家の不安心理を緩和させました。月末にかけては、GDPや米連邦公開市場委員会（FOMC）声明文の発表を控え、様子見ムードから大きな動きはなく、堅調に推移して月を終えました。なお、月末のFOMCでは市場予想通り▲0.25%の金利引き下げが実施され、今後は「持続的な成長と物価安定を促すのに必要な措置を取る」としました。

■ 業種別では、自動車・自動車部品、エネルギーや各種金融が上昇し、家庭用品・パーソナル用品、食品・飲料・タバコなどの消費関連銘柄が下落しました。

〔欧州株式市場〕

■ 欧州株式市場の主要株価指数の月間騰落率は、MSCI欧州株価指数は+5.59%、英FT100指数は+6.76%、仏CAC指数は+6.15%、独DAX指数は+6.33%となり（いずれも現地通貨ベース）、信用収縮が最悪期を脱したとの見方が広がり、株価は総じて大幅上昇となりました。

■ 当月は、スイス銀行大手UBS や米証券大手リーマン・ブラザーズによる資本増強策などの発表や、米国金融当局が金融市場の混乱に直接的に関与する姿勢を強めたこと等を背景に、金融市場の混乱が徐々に収束しつつあるとの見方が強まり、金融セクターを中心に上昇して始まりました。その後は、米ゼネラル・エレクトリックの1-3月期決算が市場予想を下回ったことによる米国株式市場の急落につられて下落する場面や、商品価格の高騰やユーロ高などを背景として調整する場面も見られましたが、総じて堅調な企業決算発表を受けて欧州株式市場は上昇に転じました。特に、商品市況高騰の恩恵を受ける石油・ガスおよび素材セクターの寄与度は大きく、市場全体の上昇につながりました。

当月、欧州中央銀行（ECB）は政策金利を据え置いた一方、イングランド銀行は▲0.25%の利下げを実施し、政策金利を5.00%とするなど、依然として金融緩和の姿勢を継続しました。

〔国内債券市場〕

■ 国内債券市場は、米国の信用力の低い個人向け住宅融資（サブプライムローン）問題に伴う信用収縮懸念の深刻化や世界的な景気減速懸念が緩み、利益確定やポジション調整の動きを強め、金利上昇の動きとなりました。

■ 1日に発表された3月調査日銀短観では、業況判断DIは総じて悪化傾向となり、足元の企業景況感の弱さを示す結果となりました。しかしながら、資金繰り悪化懸念を強めていた米国大手証券会社の救済策がまとまった3月中旬以降、サブプライムローン問題を発端とする悲観論は徐々に緩み、原油の高騰等を受けたインフレ懸念が再び強まったことから、米国債利回りは上昇基調となりました。これを受け、国内債券市場も益出しやポジション調整の動きをきっかけに、金利上昇基調となりました。3月中旬以降堅調な日本株式市場動向や、米ドル買戻し基調となったドル／円の為替動向も、この動きを下支えしました。

■ 月後半は、欧米大手金融機関の決算発表が市場予想を大きく下回ることが無かったことや、インフレ懸念の台頭を受けた米連邦準備制度理事会（FRB）の利下げ休止観測等が、米国債金利上昇圧力となり、国内債券利回りもポジション調整を伴い、引き続き金利上昇の動きとなりました。日経平均株価指数が14,000円を目指す勢いを見せたことも、市場心理の改善を示すものと捕らえられ、金利水準の調整の動きに拍車をかける結果となりました。10国債利回りは、月後半1.6%台後半まで急上昇したものの、1.6%割れ水準まで戻し月末を迎えました。

《参考指標》

		2008年3月末	2008年4月末	変化率
日本	TOPIX(東証株価指数)	1212.96 ポイント	1358.65 ポイント	12.01%
	日経平均	12525.54 円	13849.99 円	10.57%
	新発10年国債	1.275 %	1.575 %	0.300上昇
米国	NYダウ	12262.89 ドル	12820.13 ドル	4.54%
	S&P500	1322.70 ポイント	1385.59 ポイント	4.75%
	NASDAQ	2279.10 ポイント	2412.80 ポイント	5.87%
	10年国債	3.410 %	3.728 %	0.318上昇
欧州	FT100	5702.10 ポイント	6087.30 ポイント	6.76%
	CAC40	4707.07 ポイント	4996.54 ポイント	6.15%
	DAX	6534.97 ポイント	6948.82 ポイント	6.33%
	独10年国債	3.899 %	4.123 %	0.224上昇
為替	米ドル/円レート	100.19 円	104.14 円	3.94%円安
	ユーロ/円レート	158.19 円	162.15 円	2.50%円安

＊各国10年国債は、ジェネリック日本指標国債10年単利（日本）、ジェネリック米国利回り10年（米国）、ドイツ国債10年の利回り（欧州）を表示しております。
＊為替は、株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値を採用しております。

アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1−17−3 TEL 03-6737-7777（代表）
編集・発行 アクサ生命保険株式会社 契約管理センター

特別勘定の資産内容について（2008年4月）

【特別勘定のINDEXの推移】

「特別勘定のＩＮＤＥＸ」とは、弊社が変額保険「Ｇｌｏｂａｌ Ｍｉｘ」に係る資産の管理・運用を行っている特別勘定の資産運用状況を表す指数をいいます。この数値は毎日増減し、ご契約の積立金の金額もこれにともない増減いたします。

日付	INDEX
07/05/31	1.027
07/06/30	1.025
07/07/31	1.007
07/08/31	0.993
07/09/30	1.007
07/10/31	1.009
07/11/30	0.982
07/12/31	0.978
08/01/31	0.935
08/02/29	0.941
08/03/31	0.914
08/04/30	0.947

【騰落率】

過去1ヶ月	過去6ヶ月	過去1年	過去2年	過去3年	設定来
3.66%	-6.11%	-6.82%	-3.41%	10.57%	-5.25%

注）設定日である２０００年８月１日を１．００としたパフォーマンスを示しています。
注）騰落率とは、一定期間における運用実績の変動率のことです。
注）上記の数値は過去の運用実績であり、将来の結果をお約束するものではありません。
注）この運用実績は、ご契約者の支払われた保険料から死亡保障額等に当てられるものを控除した部分の伸び率です。

【特別勘定資産の内訳】

項目	金額（千円）	構成比（%）
預貯金・コールローン	699,843	1.9
日本株式型投資信託①（アクサＲ）	3,911,892	10.6
日本株式型投資信託②（アクサＲ）	5,849,134	15.9
米国株式型投資信託（アクサＲ）	5,570,425	15.1
欧州株式型投資信託（アクサＲ）	3,684,686	10.0
日本債券型投資信託（アクサＲ）	16,520,504	44.9
その他	536,052	1.5
特別勘定合計	36,772,539	100.0

注）金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第2位を四捨五入しておりますが、合計値に対する調整は行っておりません。

【保有契約高】

項目	件数（件）	金額（千円）
有期型	1,110	2,559,617
終身型	55,867	299,673,510
合計	56,977	302,233,128

注）金額の単位未満は切り捨てとしました。

【特別勘定の解説】

■ 当特別勘定は原則として、５０％を安全資産での運用にしております。
■ 積極的な運用を目指す株式部分は、当面日本株で全体の２５％、欧米株式で２５％の資産配分といたします。
■ リスク分散の観点から、少数銘柄に偏ることなく、資産種類および各資産ごとでの分散投資を心掛け、バランスのとれた運用を行います。

【今後の運用方針】

■ 特別勘定の運用資産における株式と債券の組入れ比率は現行水準を継続します。また、投資対象を幅広く分散することでより安定的な運用を行ってまいります。

（アクサ生命保険株式会社 投資性プロフィットセンター ファンドマネジメント・チーム）

アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1－17－3 TEL 03-6737-7777（代表）
編集・発行 アクサ生命保険株式会社 契約管理センター

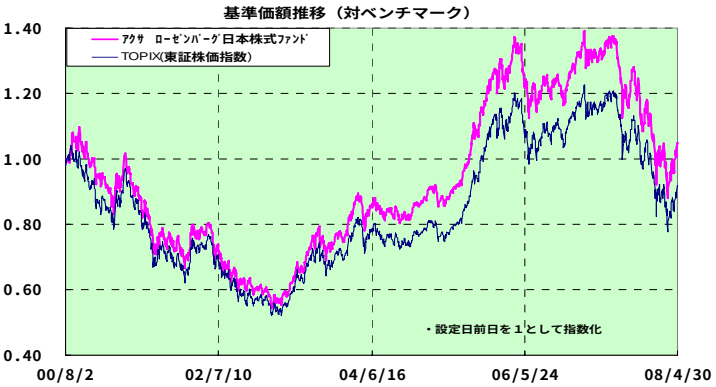
日本株式ファンド（運用会社：アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社）

[運用方針]：　わが国の証券取引所上場株式および店頭登録銘柄に投資し、信託財産の中・長期的な成長を目指します。割安でかつ成長性の高い銘柄を中心に投資することで、安定的にベンチマークを中・長期的に上回る運用成果を目指します。「アクサ　ローゼンバーグ・日本株式ファンド（A）＜適格機関投資家私募＞」に投資します。

[ベンチマーク]：TOPIX

【運用状況】

当月は、ベンチマークであるTOPIXが+12.01%であったのに対し、当ファンドは、+12.12%となり、+0.11%のアウトパフォームとなりました。
当月の日本株式市場は、前月に引き続き株式の売買が活発に行われた銘柄が下落する傾向にあり、当ファンドではこれらの銘柄をベンチマーク比で少なめに保有していたことがプラスに寄与しました。
業種別では、上昇した機械を多めに保有していたことや、下落した空運やその他公益などをベンチマーク比で少なめに保有していたことはプラスへの寄与となりました。
個別銘柄では、上昇したボッシュ（6041）を多めに保有していたことや、下落したヤフー（4689）や資生堂（4911）などを保有していなかったことはプラスに寄与しました。



【今後の運用方針】

当ファンドの運用方針は、わが国の企業の株式から、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別し、ポートフォリオをベンチマークからの乖離が一定の範囲内に収まるよう構築することで、中・長期的な観点から安定的にベンチマークを上回る運用を目指します。
割安株の選別は、独自に開発したシステマティックなモデル（定量分析）を幅広い銘柄に適用し、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目して、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行うことを基本とします。

（アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社　日本株式運用チーム）

組入上位銘柄

	銘柄	業種	比率
1	トヨタ自動車	輸送用機器	4.0%
2	三菱ＵＦＪフィナンシャル・グループ	銀行業	3.6%
3	本田技研工業	輸送用機器	2.1%
4	松下電器産業	電気機器	1.9%
5	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.8%
6	三菱商事	卸売業	1.7%
7	任天堂	その他製品	1.6%
8	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	1.6%
9	キヤノン	電気機器	1.6%
10	日本電信電話	情報・通信業	1.5%
合計			21.4%
組入銘柄数			459銘柄

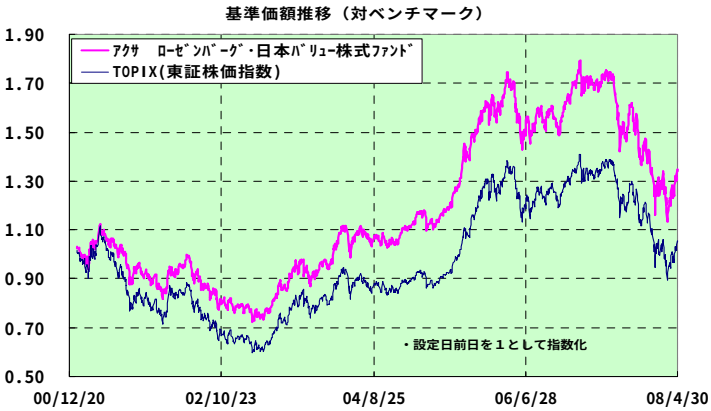
＊上記比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

日本バリュー株式ファンド（運用会社：アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社）

[運用方針]：　わが国の証券取引所上場株式および店頭登録銘柄に投資し、信託財産の中・長期的な成長を目指します。割安でかつ成長性の高い銘柄を中心に積極的に投資することで、ベンチマークを中・長期的に上回る運用成果を目指します。「アクサ　ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド（B）＜適格機関投資家私募＞」に投資します。

[ベンチマーク]：TOPIX

当月はベンチマークであるTOPIXが+12.01%となったのに対し、当ファンドは+11.66%となり、▲0.35%のアンダーパフォームとなりました。
当月の日本株式市場は、株式の売買が活発に行なわれた銘柄が相対的に上昇する傾向にあり、当ファンドではこれらの銘柄をベンチマーク比で少なめに保有していたことがマイナスに寄与しました。
業種別では、上昇した銀行や不動産をベンチマーク比で少なめに保有していたことや、下落した化学を多めに保有していたことはマイナスに寄与しました。
個別銘柄では、上昇したみずほフィナンシャルグループ（8411）、三井住友フィナンシャルグループ（8316）や三菱ＵＦＪフィナンシャル・グループ（8306）などをベンチマーク比で少なめに保有していたことはマイナスに寄与しました。



【今後の運用方針】

当ファンドの運用方針は、わが国の企業の株式から、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別し、積極的に投資することで、ベンチマークを中・長期的に上回る運用を目指します。
割安株の選別は、独自に開発したシステマティックなモデル（定量分析）を幅広い銘柄に適用し、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目して、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行うことを基本とします。

（アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社　日本株式運用チーム）

組入上位銘柄

	銘柄	業種	比率
1	松下電器産業	電気機器	3.3%
2	三菱商事	卸売業	3.2%
3	三井物産	卸売業	3.1%
4	本田技研工業	輸送用機器	2.9%
5	トヨタ自動車	輸送用機器	2.8%
6	東芝	電気機器	2.7%
7	三菱ＵＦＪフィナンシャル・グループ	銀行業	2.7%
8	日本電信電話	情報・通信業	2.7%
9	ミレアホールディングス	保険業	2.4%
10	国際石油開発帝石ホールディングス	鉱業	2.1%
合計			27.9%
組入銘柄数			379銘柄

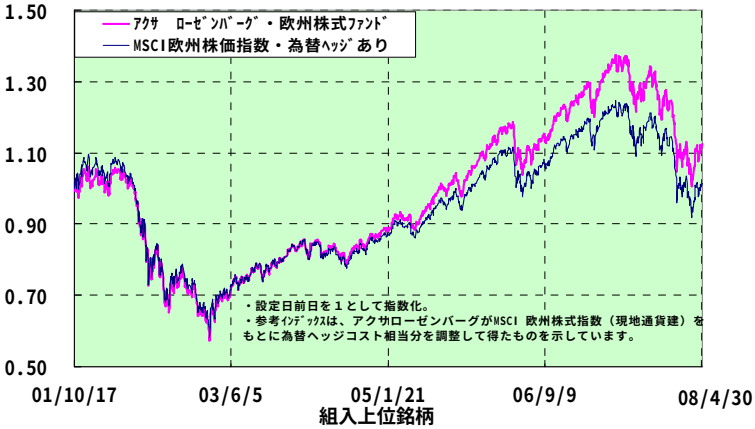
＊上記比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

注）ここでは、特別勘定から買付けるファンドのパフォーマンスを評価して います。特別勘定自体のINDEXではないことにご注意ください。

欧州株式ファンド（運用会社：アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社）

[運用方針]：　幅広い投資対象（欧州約3,500社が対象）を一貫した統計的手法で分析し、独自のクオンツモデルによる銘柄選択を行い且つ、リスクを限定しつつ安定的にベンチマークを上回ることを目標とします。
「アクサ　ローゼンバーグ・欧州株式ファンド（A）＜適格機関投資家私募＞」に投資します。
[ベンチマーク]：　MSCI 欧州株式指数（為替ヘッジあり）

基準価額推移（対ベンチマーク）



[運用状況]

当月はベンチマークであるMSCI欧州株価指数が+4.63%であったのに対し、当ファンドは+5.47%となり、+0.84%のアウトパフォームとなりました。
当月の欧州株式市場は、これまでに相対的にみて前月上昇していた銘柄が、当月は下落する基調にあり、当ファンドではこれらの銘柄をベンチマークに比較して少なめに保有していたことがプラスに寄与しました。
業種別では、上昇した石油メジャー、金属を多めに保有していたことや、下落した食品を少なめに保有していたことやいずれもプラスに寄与しました。
個別銘柄では、上昇したエネルギー銘柄のスタトイルハイドロ（ノルウェー）、ロイヤル・ダッチ・シェル（オランダ）やENI（イタリア）などを多めに保有していたことはプラスに寄与しました。

[今後の運用方針]

当ファンドの運用方針は、欧州企業の株式の中で、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的に安定的に上回る運用を目指します。
割安株の選別は、銘柄選択用クオンツモデル（定量分析）等により、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目し、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行うことを基本とします。

（アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社）

組入上位銘柄

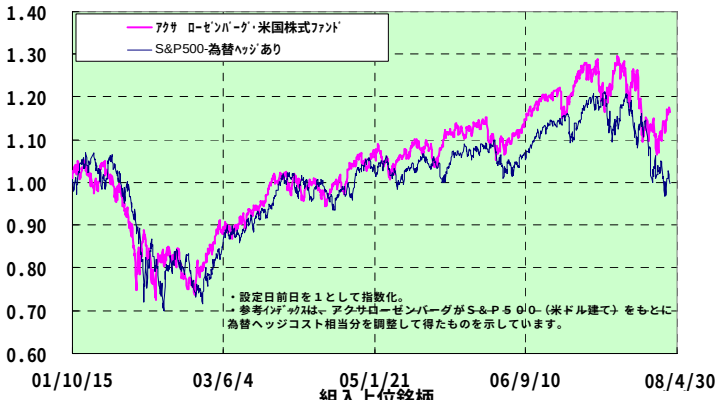
	銘柄	業種	比率
1	ボーダフォン・グループ PLC	電気通信サービス	2.6%
2	トタル SA	エネルギー	2.5%
3	BP PLC	エネルギー	2.3%
4	ネスレ	食品・飲料・タバコ	2.0%
5	ロイヤル・ダッチ・シェルPLC-A SHS	エネルギー	1.9%
6	HSBCホールディングス PLC	銀行	1.8%
7	ENI SPA	エネルギー	1.7%
8	アリアンツ	保険	1.5%
9	ロイヤル・ダッチ・シェルPLC-B SHS	エネルギー	1.4%
10	シーメンス	資本財	1.4%
合計			19.1%
組入銘柄数			323銘柄

＊上記比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

米国株式ファンド（運用会社：アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社）

[運用方針]：　幅広い投資対象（米国約6,500社が対象）を一貫した統計的手法で分析し、独自のクオンツモデルによる銘柄選択を行い且つ、リスクを限定しつつ安定的にベンチマークを上回ることを目標とします。
「アクサ　ローゼンバーグ・米国株式ファンド（A）＜適格機関投資家私募＞」に投資します。
[ベンチマーク]：　S＆P500（為替ヘッジあり）

基準価額推移（対ベンチマーク）



[運用状況]

当月はベンチマークであるS&P500種株価指数が+5.55%であったのに対し、当ファンドは+6.27%となり、+0.72%アウトパフォームしました。
当月の米国株式市場は、企業成長度の高い銘柄をベンチマークに対し多めに保有していたことはプラスに寄与しました。
業種別では、上昇した石油メジャー、石油サービスや石油をベンチマーク比で多めに保有していたことはプラスに寄与しました。
個別銘柄では、下落した資本財のゼネラル・エレクトリックを少なめに保有していたことや、上昇した素材のフリーポート・マクモラン・コッパー・アンド・ゴールド・インコーポレーテッドやエネルギーのヘスを多めに保有していたことはプラスに寄与しました。

[今後の運用方針]

当ファンドの運用方針は、米国企業の株式の中で、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的に安定的に上回る運用を目指します。
割安株の選別は、銘柄選択用クオンツモデル（定量分析）等により、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目し、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行うことを基本とします。

（アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社）

組入上位銘柄

	銘柄	業種	比率
1	エクソン・モービル	エネルギー	4.5%
2	ゼネラル・エレクトリック	資本財	2.3%
3	シェブロン	エネルギー	2.0%
4	IBM	テクノロジー製品・機器	1.9%
5	アップルINC	テクノロジー製品・機器	1.8%
6	AT&T	電気通信サービス	1.5%
7	コノコフィリップス	エネルギー	1.5%
8	シュルンベルジェ	エネルギー	1.5%
9	マイクロソフト	ソフトウェア・サービス	1.5%
10	ファイザー	医薬品・バイオテクノロジー	1.5%
合計			20.0%
組入銘柄数			286銘柄

＊上記比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

注）ここでは、特別勘定から買付けるファンドのパフォーマンスを評価しています。特別勘定自体のINDEXではないことにご注意ください。

アクサ生命保険株式会社
〒108-8020　東京都港区白金1－17－3　　TEL　03-6737-7777（代表）
編集・発行　アクサ生命保険株式会社　契約管理センター

日本債券ファンド（運用会社：アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社）

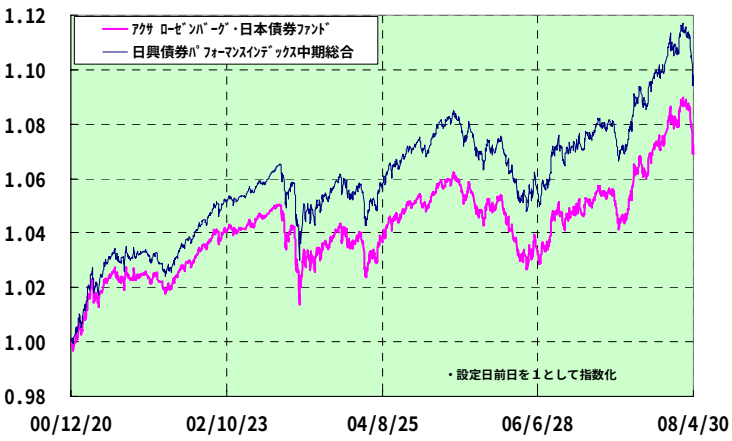
[運用方針]：　主としてわが国ならびに外国の公社債投資を行い、安定した収益の確保を目指して運用を行います。
「アクサ　ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B)＜適格機関投資家私募＞」に投資します。

[ベンチマーク]：日興債券ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ・ｲﾝﾃﾞｯｸｽ中期総合

【運用状況】
当月の当ファンドは▲1.53%（ベンチマークは▲1.57%）となりました。
中長期的な観点では、景気、物価情勢は概ね日銀の展望に沿う形で推移してきたと言えるものの、消費関連指標に力強さは見られず、足元の指標が示すように日本経済の方向性の不透明感が高まっており、企業景況感の弱さも目立つ状況下にあります。しかし、米国サブプライムローン問題の深刻化や米国景気後退懸念が一旦緩んできたことから、国内債券市場においても、ポジション調整の動きか強まるとの判断を行いました。従って、前月後半に長期化から中立に戻していたデュレーション・ポジションを月初からは、短期化とし、月後半まで維持しました。月末には再び中立水準に戻したものの、この投資行動はパフォーマンスにプラスの寄与となりました。
社債等の対国債利回り較差は市場心理の改善を受けて、縮小したことから、厳しい市場評価を受けていた金融セクターの銘柄群に大きな改善が見られ、パフォーマンスにプラスの寄与となったものの、依然として国債比率をベンチマーク対比で大きくオーバーウェイトとしていたことから、この寄与はマイナスとなり、総じてほぼ中立的な寄与となりました。

【今後の運用方針】
中長期的な観点では、景気、物価動向は概ね日銀の展望に沿った形で推移していると言えます。しかし、外的要因としての米国サブプライムローン問題の波及等、依然不確実要素が残り、日銀は以前よりも増して、それらの点について詳細に点検を行う必要があると考え、政策金利の据え置きが続いています。一旦米国景気悪化懸念や米国の利下げ期待が弱含むなど、市場心理の改善があるものの、海外からもたらされる不確実性を強く意識しなければならない環境が継続しており、国内景気への配慮も必要となる状況です。当面は、米国サブプライムローン問題の波及やそれに伴う金融システム不安、及び国内景気への影響を十分に配慮しながらの舵取りをしいられるだけでなく、閉塞感が強まっている国内景気への配慮も鑑みての金融政策が必要となっています。当面は、国内要因、外的要因の影響等を注視し、金融政策への影響も考慮しつつ運用を行っていく方針です。

基準価額推移（対ベンチマーク）



信託財産の構成

	組入比率	ﾃﾞｭﾚｰｼｮﾝ
公社債	99.7%	4.34年
短期資産等*	0.3%	66.59年
合計	100.0%	4.55年

＊債券先物を含む

公社債の内訳

	組入比率	ﾃﾞｭﾚｰｼｮﾝ
国債	82.4%	4.62年
地方債	0.0%	0.0年
特殊・財投債	2.5%	3.04年
金融債	0.5%	2.13年
社債等	14.3%	3.06年
コールローンその他*	0.3%	66.59年
合計	100.0%	4.55年

＊債券先物を含む

格付別債券構成比率

格付区分**	構成比率
AAA	3.9%
AA	90.2%
A	4.9%
BBB	1.0%
BB以下	0.0%
合計	100.0%

** S&P格付を優先

（アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社　日本債券運用チーム）

注）ここでは、特別勘定から買付けるファンドのパフォーマンスを評価しています。特別勘定自体のINDEXではないことにご注意ください。

注意事項

○変額保険の仕組み
変額保険とは、保険金額が「特別勘定」の資産運用実績にもとづいて変動する生命保険です。
*特別勘定とは、変額保険にかかわる資産の管理・運用を行うもので、他の保険種類にかかわる資産とは区分し、独立して管理・運用を行います。

○変額保険のリスクについて
①市場リスク
特別勘定の資産運用には、株価の低下や為替の変動等による投資リスクがあります。場合によっては、お受け取りになる保険金額（有期型の場合、満期保険金を含む）や解約払いもどし金額の合計額が、払い込まれた保険料の合計額を下回る可能性があります。なお運用実績にかかわらず、死亡・高度障害時保険金は保証されています。

②信用リスク
万一、引受生命保険会社が経営破綻に陥った場合、ご契約時にお約束した給付金等の金額が削減されることがあります。その場合、生命保険契約者保護機構により、保険契約者保護の措置が図られることがありますが、この場合にも、ご契約時の給付金等の金額が削減されることがあります。

アクサ生命保険株式会社
〒108-8020　東京都港区白金1－17－3　TEL　03-6737-7777（代表）
編集・発行　アクサ生命保険株式会社　契約管理センター

契約月別の運用実績の例

（一時払、男性40歳加入、基本保険金額1,000万円の場合。但し、有期型の場合は、保険期間10年）

契約日	終身型		有期型		契約月別運用実績(%)	年複利(%)
	保険金額(万円)	変動保険金額(万円)	保険金額(万円)	変動保険金額(万円)		
平成12年 8月 1日	1,000	-351	1,000	-315	-5.25	-0.69
平成12年 9月 1日	1,000	-360	1,000	-323	-6.65	-0.89
平成12年 10月 1日	1,000	-336	1,000	-300	-3.99	-0.53
平成12年 11月 1日	1,000	-316	1,000	-281	-1.81	-0.24
平成12年 12月 1日	1,000	-293	1,000	-260	0.69	0.09
平成13年 1月 1日	1,000	-273	1,000	-240	2.92	0.39
平成13年 2月 1日	1,000	-285	1,000	-251	1.04	0.14
平成13年 3月 1日	1,000	-247	1,000	-216	5.35	0.73
平成13年 4月 1日	1,000	-225	1,000	-195	7.72	1.06
平成13年 5月 1日	1,000	-250	1,000	-218	4.29	0.60
平成13年 6月 1日	1,000	-241	1,000	-210	4.93	0.70
平成13年 7月 1日	1,000	-227	1,000	-196	6.39	0.91
平成13年 8月 1日	1,000	-198	1,000	-168	9.52	1.36
平成13年 9月 1日	1,000	-157	1,000	-128	14.22	2.01
平成13年 10月 1日	1,000	-106	1,000	-79	20.07	2.82
平成13年 11月 1日	1,000	-122	1,000	-95	17.60	2.53
平成13年 12月 1日	1,000	-128	1,000	-100	16.51	2.41
平成14年 1月 1日	1,000	-127	1,000	-100	16.15	2.39
平成14年 2月 1日	1,000	-98	1,000	-72	19.33	2.87
平成14年 3月 1日	1,000	-105	1,000	-79	18.00	2.72
平成14年 4月 1日	1,000	-119	1,000	-92	15.85	2.45
平成14年 5月 1日	1,000	-112	1,000	-85	16.36	2.56
平成14年 6月 1日	1,000	-114	1,000	-87	15.69	2.49
平成14年 7月 1日	1,000	-74	1,000	-47	20.16	3.20
平成14年 8月 1日	1,000	-36	1,000	-10	24.33	3.86
平成14年 9月 1日	1,000	-33	1,000	-7	24.33	3.92
平成14年 10月 1日	1,000	-1	1,000	24	27.87	4.50
平成14年 11月 1日	1,000	2	1,000	28	27.85	4.57
平成14年 12月 1日	1,000	-11	1,000	14	25.63	4.30
平成15年 1月 1日	1,000	18	1,000	44	28.93	4.88
平成15年 2月 1日	1,000	46	1,000	73	32.01	5.43
平成15年 3月 1日	1,000	54	1,000	82	32.53	5.60

アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1－17－3 TEL 03-6737-7777（大代表）
編集・発行 アクサ生命保険株式会社 契約管理センター

契約日	終身型		有期型		契約月別運用実績(%)	年複利(%)
	保険金額(万円)	変動保険金額(万円)	保険金額(万円)	変動保険金額(万円)		
平成15年 4月 1日	1,000	59	1,000	87	32.68	5.72
平成15年 5月 1日	1,000	43	1,000	70	29.98	5.38
平成15年 6月 1日	1,000	28	1,000	55	27.75	5.11
平成15年 7月 1日	1,000	10	1,000	37	25.06	4.74
平成15年 8月 1日	1,000	1	1,000	28	23.47	4.54
平成15年 9月 1日	1,000	-5	1,000	20	22.10	4.37
平成15年 10月 1日	1,000	-6	1,000	19	21.56	4.35
平成15年 11月 1日	1,000	-16	1,000	9	19.90	4.12
平成15年 12月 1日	1,000	-11	1,000	14	20.09	4.23
平成16年 1月 1日	1,000	-21	1,000	4	18.47	3.99
平成16年 2月 1日	1,000	-31	1,000	-6	16.78	3.72
平成16年 3月 1日	1,000	-41	1,000	-16	15.13	3.44
平成16年 4月 1日	1,000	-53	1,000	-28	13.29	3.10
平成16年 5月 1日	1,000	-50	1,000	-25	13.24	3.16
平成16年 6月 1日	1,000	-38	1,000	-13	14.22	3.45
平成16年 7月 1日	1,000	-48	1,000	-23	12.68	3.16
平成16年 8月 1日	1,000	-29	1,000	-3	14.52	3.68
平成16年 9月 1日	1,000	-27	1,000	-1	14.29	3.71
平成16年 10月 1日	1,000	-25	1,000	0	14.11	3.75
平成16年 11月 1日	1,000	-19	1,000	5	14.36	3.91
平成16年 12月 1日	1,000	-29	1,000	-3	12.86	3.60
平成17年 1月 1日	1,000	-41	1,000	-16	10.97	3.17
平成17年 2月 1日	1,000	-39	1,000	-14	10.85	3.22
平成17年 3月 1日	1,000	-51	1,000	-26	9.11	2.79
平成17年 4月 1日	1,000	-49	1,000	-24	8.91	2.81
平成17年 5月 1日	1,000	-31	1,000	-5	10.57	3.40
平成17年 6月 1日	1,000	-39	1,000	-14	9.22	3.07
平成17年 7月 1日	1,000	-49	1,000	-24	7.74	2.67
平成17年 8月 1日	1,000	-58	1,000	-33	6.32	2.25
平成17年 9月 1日	1,000	-61	1,000	-37	5.53	2.04
平成17年 10月 1日	1,000	-89	1,000	-65	2.01	0.78
平成17年 11月 1日	1,000	-81	1,000	-57	2.58	1.02
平成17年 12月 1日	1,000	-102	1,000	-101	-0.08	-0.03
平成18年 1月 1日	1,000	-115	1,000	-114	-1.87	-0.81
平成18年 2月 1日	1,000	-124	1,000	-123	-3.24	-1.45

アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1－17－3 TEL 03-6737-7777（大代表）
編集・発行 アクサ生命保険株式会社 契約管理センター

契約日	終身型		有期型		契約月別運用実績(%)	年複利(%)
	保険金額(万円)	変動保険金額(万円)	保険金額(万円)	変動保険金額(万円)		
平成18年 3月 1日	1,000	-116	1,000	-116	-2.73	-1.27
平成18年 4月 1日	1,000	-121	1,000	-120	-3.61	-1.75
平成18年 5月 1日	1,000	-116	1,000	-115	-3.41	-1.72
平成18年 6月 1日	1,000	-82	1,000	-81	-0.10	-0.05
平成18年 7月 1日	1,000	-81	1,000	-81	-0.43	-0.24
平成18年 8月 1日	1,000	-78	1,000	-78	-0.45	-0.26
平成18年 9月 1日	1,000	-93	1,000	-116	-2.37	-1.43
平成18年 10月 1日	1,000	-90	1,000	-110	-2.44	-1.55
平成18年 11月 1日	1,000	-91	1,000	-109	-2.90	-1.94
平成18年 12月 1日	1,000	-89	1,000	-104	-3.03	-2.15
平成19年 1月 1日	1,000	-103	1,000	-116	-4.92	-3.72
平成19年 2月 1日	1,000	-110	1,000	-120	-5.92	-4.77
平成19年 3月 1日	1,000	-108	1,000	-116	-6.10	-5.25
平成19年 4月 1日	1,000	-105	1,000	-110	-6.10	-5.64
平成19年 5月 1日	1,000	-108	1,000	-111	-6.82	-6.82

注(1) 保険金額は、基本保険金額に変動保険金額を加えた保障額を示したものです。ただし、変動保険金額が負値の場合、保険金額は基本保険金額を表示しています。

(2) 契約月別運用実績は、契約時点に特別勘定に投入した金額の平成20年4月末までの運用実績を示したものです。
なお、この運用実績は、ご契約者の支払われた保険料から死亡保障額等に当てられたものを控除した部分の伸び率です。

(3) 年複利は、契約月別運用実績を年複利換算したものです。

アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1－17－3 TEL 03-6737-7777（大代表）
編集・発行 アクサ生命保険株式会社 契約管理センター